

新しい経済政策パッケージ

今年も残すところあと10日程となりました。日頃の皆様方からの暖かいご支援のお陰により、この1年も無事に終えることができました。改めて心より感謝申し上げます。

今年、C型肝炎治療薬「ハーボニー配合錠」の偽造品が流通し、患者に調剤されるという驚くべきニュースから始まりました。当該偽造品を調剤された患者の機転により大事には至らなかったものの、正規の医薬品卸売販売業から保険薬局を通じて患者の手許に届いたことは、前代未聞の事実でした。更には大手の調剤薬局チェーンによる保険の不正請求が発覚するなど、国民の医薬品への不安や薬剤師・薬局に対する不信を招きかねないところとなっています。また、薬局の立地規制の緩和により、病院敷地内への保険薬局の設置や誘致という「患者のための薬局ビジョン」の達成に逆行しかねない状況も生じているところから、厚生労働委員会等の質疑において、医薬品供給や医療提供に関する問題を取り上げ、適正な行政施策の遂行がなされるよう、努めてきたところです。

さて、政府は今日8日、安倍首相が先の特別国会での所信表明で早急にとりまとめるとした「新しい経済政策パッケージ」を公表しました。

新しい経済パッケージでは、少子高齢化という最大の壁に立ち向かうため、生産性革命と人づくり革命を車の両輪として積極的に取り組み、その果実を社会保障の充実に活かし、その社会基盤の下で成長と分配の好循環を強化し、老若男女の誰もが生きがいを感じ、能力を思う存分発揮できる、1億総括社会を創り上げるとしています。

生産性革命に関して、将来にわたる我が国の国際競争力を維持・向上するためには、「Society 5.0」の社会実装に向けた制度整備を加速する必要があるとして、現行規制で想定していなかった新技術や新たなビジネスモデルについて、参加者や期限を限定することにより関連規制が直ちに適用されない、プロジェクト型の規制の「サンドボックス」を創設する法案、及び、自動走行や小型無人機等の近未来技術の実装実験を、特区内でより迅速・円滑に実現できるよう、国家戦略特別区域法の改正法案を次期国会に提出するとしています。

ところで、本年度の補正予算案と来年度の政府予算案は、今週末の22日に閣議決定される予定となっていますが、来年4月の診療報酬、調剤報酬の改定に向けて、診療報酬本体は前回改定を上回る0.55%、医科と調剤の比率は、従来と同様の1:0.3とすることとなりました。他方、薬価については、医薬品の価格調査の結果、平均乖離率が9.1%と前回改定時に比べて0.3%拡がったこともあって、マイナス1.36%引き下げることとなりました。詳細

な内容については、これから中医協において議論されることとなりますが、薬剤師・薬局の業務に対する適正な評価が行われるよう、しっかりと見守って参りたいと思います。